

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

地域で活発な活動団体を紹介します！



第 15 号
平成29年12月発行

清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部県民生活課
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市数田南2-1-1（県庁6階）
電話 058-272-8199



22 羽島郡笠松町「まちづくりびと講座」の実践

活動拠点：笠松中央公民館（〒501-6083 羽島郡笠松町常盤町6番地） 参考者：4グループ24名

平成28年度 笠松町「まちづくりびと講座」の取組み

笠松町で実施されたこの講座は、岐阜大学名誉教授 森田政裕氏 岐阜大学地域協学センター長 益川浩一氏の指導・助言、県の生涯学習コーディネーター 内田晴代氏並びにコミュニティ診断士にサポートを受けながら進められ、4つの地域づくり活動が実践されましたので紹介します。

●人生の先輩がいつまでも元気なまち 笠松

<地域課題>

笠松町の人口構成比は、2010年には、65歳以上は、5,427人／23.8%だったのに対して、2040年には、65歳以上は、6,479人／34.1%と高齢化率が進む。ほぼ、1,000人の高齢者の増加に対して、手厚い福祉の目を向けることは大切だが、それ以上に、自立して生き抜いていくことのできる高齢者の生活を支援する必要がある。

<活動内容>

「引きこもっているだけではだめ！アタマとカラダを使って、元気になろう」というメッセージを送り続ける。そのために、「外出しやすい環境づくり」「外出する目的づくり」に取り組んだ。巡回バスの利用状況調査と利用しやすさの検証、改善策の提案を行った。また、高齢者が実際にまちへ出るための仕掛け作りとして、「笠松のお社めぐり」「笠松のカフェをめぐる」「笠松ふれあいいきいきサロン」「笠松お寺めぐり」のまち歩きマップを作成。また、実際に高齢者にまち歩きをしてもらいながら町内の見所を収集し「笠松のウォーキングネタマップ」を作成した。



高齢者参加の「まちの見所探しウォーキング」

<今後の展望>

まち歩きマップが笠松地域でとどまっているので全町へと広げていき、町内在住の高齢者がだれでも外へ出かけてみたい気持ちになるようブラッシュアップさせる。そのための町内の見所探しに高齢者の協力を得て、ともに作り上げていきたい。

●いやしの空間 ～杉山邸～

<地域課題>

笠松町は、かつては本町商店街を中心に商業が盛んで賑わいのある町であったが、現在は本町商店街も店舗の数が減ってしまい活気がない。また、町全体として飲食店など住民が気軽に立ち寄れる場所や若い世代が好むような店舗が少なく、食事や買い物、ちょっとした集まりも町外となっている。主婦世代の活力がまちの活気につながるため、どうすれば主婦世代にヒットするかイベントの内容や広報の仕方を工夫する必要がある。

<活動内容>

ターゲットとする主婦層に響くイベント「いやしの空間～杉山邸～」を開催。主婦世代に「行ってみよう」と思わせるには、場所の魅力も必要と考え、笠松にある国登録文化財「杉山邸」を会場に決定。「ヒーリング」「アロマハンドマッサージ」「アロマクリーム作り」「アロマスプレー作り」「占い」を実施した。同じ敷地で物販の「笠松マルシェ」とコラボし、集客の相乗効果もねらう。広報としてチラシを作成し「まちの駅」など主婦の利用がある施設に設置、町のイベント会場で主婦層にピンポイントに配布、SNSで発信した。100人近い来場者の半数以上がターゲットとしていた30代・40代の主婦であった。



いやしの空間～杉山邸～「アロマクリーム作り」

<今後の展望>

定期的に杉山邸を活用したイベントを開催し、それに合わせて本町商店街の商店の協力や空き店舗の活用を図る。また、みなと公園と本町商店街との間に人の流れを作るため、公園東屋での物販などを企画する。